

## 研究開発法人についての共通調査票

NO.	98	所管	環境省	法人名	国立環境研究所	職員の身分	非国家公務員
-----	----	----	-----	-----	---------	-------	--------

### 1. 研究職員数の推移について

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
研究職員（うち外国人）（4/1現在）	338（29）	185（6）	153（23）	327（25）	191（6）	136（19）	332（30）	190（6）	142（24）
うち任期付（うち外国人）	25（1）	25（1）	/	39（1）	39（1）	/	38（1）	38（1）	/
うち非任期付（うち外国人）	160（5）	160（5）	/	152（5）	152（5）	/	152（5）	152（5）	/
全職員に対する研究職員の割合（外国人）	43%（73%）	75%（100%）	28%（68%）	41%（76%）	76%（100%）	25%（70%）	40%（73%）	75%（100%）	25%（69%）
（参考）全職員数（うち外国人）	784（40）	247（6）	537（34）	797（33）	250（6）	547（27）	831（41）	252（6）	579（35）

### 2. 研究職員の処遇について

#### （1）年俸制

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
年俸制研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
全研究職員に対する年俸制研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

#### （2）業績給

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
業績給研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
全研究職員に対する業績給研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

#### （3）混合給与

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
混合給与研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/	0（0）	0（0）	/
全研究職員に対する混合給与研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

#### （4）その他（研究職員の処遇に関し講じている施策があれば記述）

国家公務員の給与制度に準じている。

### 3. 研究職員の人件費の財源について（単位：百万円）

	平成22年度<実績ベース>	平成23年度<実績ベース>	平成24年度<実績ベース>
研究職員人件費	3,267	2,915	2,586
運営費交付金（研究職員人件費に占める割合）	2,779（85%）	2,522（87%）	2,254（87%）
運営費交付金以外（研究職員人件費に占める割合）	488（15%）	393（13%）	332（13%）
（内訳）受託費等	488	393	332
（参考）総人件費	5,174	4,813	4,654

NO.	98	所管	環境省	法人名	国立環境研究所	職員の身分	非国家公務員
-----	----	----	-----	-----	---------	-------	--------

#### 4. 研究開発業務について

(1) 法人が行っている研究開発業務について、国家戦略（閣議決定レベルのものに限る。）との関係について

○第4期環境基本計画：第2部第4章第2節2. (1)①環境研究・技術開発の実施体制の整備 において、「環境研究の中核を担う独立行政法人国立環境研究所の研究開発法人としての機能強化（中略）などにより基盤整備に取り組む」と規定されており、それを踏まえ環境研究を総合的に推進。  
 ○第4期科学技術基本計画：Ⅱ3. グリーンイノベーションの推進 を踏まえ、衛星等による地球環境観測を、Ⅱ4. ライフイノベーションの推進 を踏まえ、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）等を実施。  
 ○福島復興再生基本方針：第3部 第3 2 (6) 放射線の人体への影響等に関する研究及び開発の推進等 において、「独立行政法人国立環境研究所において、汚染廃棄物・土壌の処理技術の評価・開発や放射性物質の環境動態解明のための研究を行う」ことが規定されており、それを踏まえ災害と環境に関する研究を実施。  
 ○生物多様性国家戦略2012～2020：第3部第1章第8節3. 1環境分野における調査研究 において、「アジア規模での生物多様性観測・評価・予測に関する総合的研究、気候変動対策と生物多様性保全の連携を目指した生態系サービス評価手法の開発などの研究を実施します」と規定されており、それを踏まえ、生物多様性に関する調査研究を実施。

(2) 貴法人の研究開発活動に対する国際的ベンチマーク

※ 過去3年以内に該当するものがあれば記入

##### ① 論文指標

ア 被引用数

イ 論文数

	世界順位	国内順位	出典
総合	位	位	
分野別)			
	位	位	
	位	位	
	位	位	

	世界順位	国内順位	出典
総合	位	位	
分野別)			
	位	位	
	位	位	
	位	位	

##### ② その他の指標

論文の量や質に関して被引用数等の様々な指標があるが、当研究所では、被引用数等で表現できる分野と表現しにくい政策貢献につながる分野等の研究を幅広く実施している。既存の指標で論文の量や質が表現できる分野については、被引用数や論文数などを今年度中に調査する予定であり、その結果をふまえ、当研究所の活動を適正に評価可能な国際的ベンチマークを検討していく予定である。

(3) 研究開発業務についての評価の具体的手法について

(例：第三者（外国人を含む）による評価、国際指標に基づく評価 等)

研究評価は「国の研究開発評価に関する大綱的指針（内閣総理大臣決定）」を踏まえ、国環研内における内部研究評価を実施するとともに、外部専門家による外部研究評価を実施しその評価結果は公表している。  
 また、国際的な視点から国環研の活動を評価するため、環境研究分野における国際的有識者を招へいし、組織運営や研究戦略および当該分野の研究活動等に関して、評価・助言をいただき、評価結果をホームページで公開している。

(4) 研究開発業務の評価結果を踏まえた取り組みについて

(例：次期の研究開発活動の予算配分に際し、予算の上乗せを行っている 等)

外部研究評価結果等について、内部の研究評価委員会等において検討を行い、次年度の年度計画・研究計画に反映させている。